

## 筑西市立明野五葉学園教育課程特例校 教育課程編成の方針

### 1 特別の教育課程の概要

第1学年から第9学年において「明野未来デザイン科」及び第1、2学年において「外国語活動」を新設し、未来を担う人財の育成として「キャリア教育」、グローバル人財の育成として「英語教育」、地域を愛し地域で活躍する人財の育成として「郷土愛を育む教育」の3つの教育を柱に、自ら考え、行動し、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を身に付けるため、課題を発見し、問いを立て、解決へ向けて協働できる探究的な学習を行う。

明野未来デザイン科	
第1、2学年 …図画工作、特別活動を削減し、年間10時間 第3～9学年 …総合的な学習の時間、社会、特別活動を削減し、 年間80時間（第7学年は年間60時間）	地域の歴史や伝統への理解を深め、 地域の人との交流や、地域のために できることを考える学習を通して、 自らの力で課題を解決していこう とする態度を育て、よりよく生きる ことができるようにする。
外国語活動	
第1、2学年 …生活、音楽、体育を削減し、年間34時間 （第2学年は年間35時間）	英語や異文化に触れ、身近なことについて 簡単な英語で伝え合うなど、 コミュニケーションを図る素地となる 資質・能力を育成する。

### 2 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

筑西市は農業が盛んな地域で米や野菜、果物など多くの特産品を栽培している。さらに文化勲章受章者や人間国宝を輩出したり、歴史的な文化財が数多く存在したりするなど、郷土のよさや魅力を地域の人々と交流しながら体験的に学ぶことができる環境がある。令和6年4月に開校した本校は、9年間の学びの系統性や育ちの連続性に配慮した前期課程と後期課程の円滑な接続と、郷土愛を育む教育及び発達の段階に応じた系統的なキャリア形成及びグローバル社会で活躍する人材を育成することをねらいとしている。「明野未来デザイン科」、「外国語活動」を軸に全教科で探究的な学習を通して、明野地区（筑西市）の未来を担い、国際社会で活躍するためのスキルを育てるとともに、グローバルな視点をもって、自らの力で問題を解決していこうとする態度を育て、よりよく生きることが出来る児童生徒を育成するために、特別の教育課程を編成し教育を実施していく。